

平成10年2月(1998年) No. 386

## 今年も大阪アマチュア映像祭開催

お正月のご挨拶に大阪市立中央図書館へ行ってきましたが、その折今年も昨年同様図書館との共催にて映像祭を開催することを確認しました。この上は今秋の映像祭へ向けて、いい作品をお願いして映像祭の評価を不動のものにしたいものです。第1回は初めての経験でしたので、何かと手違いや課題も残りましたが、今年はその問題点も克服して、うまく運営したいものと考えております。OMCは連盟の中核と考えておりますので、会員諸氏の絶大なるご支援をお願いしておきます。

### 2月例会のお知らせ

2月例会は第4土曜日28日、18時より阿倍野市民学習センターにて、今月は会場の都合により和室になります。お間違いのないよう願います。作品持参でどうぞお集まりを。

## 盛会だった新年会

去る1月18日(日曜日)法善寺の「さと」で開催しましたOMC新年会には何と26名の会員諸氏が集まり盛り上がりました。前年までは関西シネクラブとの共催で17から18名前後でしたので、大変な増えかたです。OMCのますますの発展を期し、親睦のひとつきを過ごしました。

## 1月例会のレポート

1月例会は、22名の出席者と13本の作品がでて驚きました。作品が2桁の本数出るなんてことは、ついぞなかったことです。これ以上増えてきたら、作品の長さを制限しなくてはならなくなり、他のクラブと同じになってしまうと心配するほどですが、とにかく嬉しい悲鳴でした。今月の司会は有村さん、書記：関さん、デッキ係：前田さんで進行しました。

■新入会者：西野 譲治さん、都島区都島南通り2-1京橋京橋グリーンハイツ  
1204 TEL924-3154

■出席（敬称略）有村、岩井、今井、江村、奥、金子、合原、勝、上総、関、  
田邑、花岡、安居、安居良枝、那須、西野（新入会者）、増池、前田、松本、森、  
森下、渡辺（22名）

## OMC 1月例会作品評

関 剛

- 1、DVのダビングテスト 前田茂夫さん 5分  
再生機はVX-1000、録画機にDHR-1000で編集、最終は例会用のS-VHSにダビングしたテストテープです。タイトルをつけるため編集のときはアナログ回路、S-VHSにダビングするのも当然アナログですからオリジナルに比べると幾分画質は落ちていると思いますが、その中間、つまりS-VHSにする前の映像をDV接続で何度ダビングを繰り返しても画質にまったく変化のないことがこのテストを見てよく解りました。
- 2、秋の素描 松本昭さん 8分30秒  
序章は子供が中心のお祭り。もうひとつ迫力に欠けますが楽しさは出ています。中盤は多分東福寺でしょう、紅葉の描写は素晴らしいと思いました。Hi8をS-VHSに編集して画質が落ちたと述べておられましたが、たいへん良好な仕上がりです。これ以上を望むのは無理でしょう。ただカットつなぎの失敗が2ヶ所ほどありました。今後の作品に活かしてください。
- 3、秋の風景と公園 石垣禎章さん 5分  
鶴見緑地の秋景色です。犬の顔が1カットだけ出てきましたが、誰が連れた犬が、なぜその犬がそこに居るのか、前後に説明的画面が無いのはちょっと唐突です。しかし無駄なパンニングがほとんどなく、石垣さんの撮影技術の向上はめざましいものがあります。
- 4、太極拳 田邑芳潤さん 6分35秒  
なみはや国体のイベントのひとつ。こんな競技もあったことを初めて知りました。しなやかな肢体、優美で力強い演技をみごとに撮られています、撮影場所が限定されていたのがまことに残念です。
- 5、聖夜の曲 今井羨美さん 6分  
クリスマスのOBP。美しいイルミネーションの下での演奏会です。テラスからの俯瞰が大部分を占め、平面に降りたアップが無いことに不満が残ります。

- 6、神戸ルミナリエ 森保信さん 6分20秒  
 ハーブ園からの俯瞰で始まり、夕暮れの居留地ルミナリエのメイン会場で次第に盛り上がっていきます。ルミナリエ一辺倒の作品が多い中、このような構成にされたのは成功でしたが、序盤がやや長いように思います。とくに港湾風景などは不要です。点灯の瞬間を撮られていましたがオートだったのか絞り機能が振ってしまいました。
- 7、長良川艶歌 江村一郎さん 4分30秒  
 一昨年の撮影会の映像を元に作られた歌謡ビデオ。ご自身が出演して歌うカラオケならなお良かったのですが。江村さんとしては珍しい異色の作品。
- 8、よし刈り 有村博さん 5分50秒  
 89年度大阪ビデオコンテスト大賞作品。これはOMC撮影会作品でリバイバル作品。近江水郷を詩情豊かに描いています。保存状態が良くほとんど退化していません。
- 9、おもろい平野のむかし話 安居利次さん 10分  
 平野は戦災の影響をほとんど受けず、時代を経た建物が今もたくさん残っています。その古い町を巡る研修会に参加された記録ですが照明不足でちょっと暗いのが難点。平野映像塾の松村さんがユーモアたっぷりのガイド役を務められたこの研修会、訪ねたところはまだ他にもあったと思いますが、わずか10分では消化しきれません。次の機会にぜひ拝見したいものです。
- 10、冬の花火 安居良枝さん 5分40秒  
 大阪港とコスモスクエアを結ぶ鉄道の開通を祝って上げられた花火をWTCの展望台から一部ミラージュを装着して撮っておられます。花火を見下すという珍しいアングルです。やや遠すぎたこともあります。まとめて上げる夏の花火大会のような迫力はありません。それを補うためかどうかは解りませんが、この題名から、大宰治の小説に傾いたお若い頃の記憶をたどり、それとオーバーラップして現在の心境を述べるナレーションが花火の場面全体にかぶさっていて、見る側としては圧迫感を覚えます。季節がら雰囲気にも多少の違いはあるでしょう。しかし夏も冬も花火の華やかさに変わりはないはず。ナレーションを基本的に好まない筆者の偏見があるかも知れませんが、花火を観る時のときめきを、いま少し素直な表現にしても良かったのではないかと思います。
- 11、神戸の夜景 那須典彦さん 8分30秒  
 夜の神戸に何度も足を運ばれたのでしょうか、光のページェントとも言える華麗な明りがつぎつぎに出現します。ただホワイトバランスを調整しなかったのか、南京町で人々の顔が異常に赤いのが気になりました。
- 12、ハワイの印象パート2 奥宏さん 7分30秒  
 会社の慰安旅行がハワイとはうらやましい。800人を越える団体、それは

それは壮観だったに違いありません。作品と言うより会社の記録、それにはもう少し参加した人々を写してあげていた方が喜ばれると思います。

13、男一代・女泣き砂日本海 西野譲治さん 9分  
色変わりの歌詞も出る本格的なカラオケビデオです。「男一代」は奥さんがドラマ風に出演してご本人が歌い「女泣き砂日本海」は奥さんの一人舞台。唱うシーンで歌と口の動きが合わなかったのが惜しまれます。日本海から吹く風が強かったのか、カメラが激しく動揺していました。

14、参考作品朝の光の中で 鈴木辰夫さん（非会員） 3分30秒

## 第37回OMCフェスティバル会計報告書

### ■収入の部

1. 出品料収入		
・ OMC以外の出品者	10,000×3名分	30,000円
・ OMC会員(補助金3,000円)	7,000×9名分	63,000円
2. 雑収入(祝儀、3名様)		12,000円
3. OMC会計より補助金		48,180円
収入合計		153,180円

### ■支出の部

1. 会場費		20,220円
2. プログラム印刷、郵送料		68,250円
3. 出品者補助金	3,000円×9名分	27,000円
4. 雑支出(プロジェクター謝礼、交通費、打合せ諸経費 慰労会補助)		37,710円
支出合計		153,180円
差引残高		0円

上記の通り相違ありません。

平成10年2月10日 OMC会計 森 保信  
会長 合原 一夫

## 平成10年新年会会計報告

### ■収入の部

会費	6,000円×26名	156,000円
----	------------	----------

### ■支出の部

懇親会費		133,108円
差引残高		22,892円

残金は本会計へ繰り入れします。ご了承ください。

上記の通り相違ありません。

平成10年2月10日 OMC会計 森 保信  
会長 合原 一夫

前にお配りした名簿では安居さんの住所が間違っていましたので(誤:住吉区→正:住之江区)、訂正いたします。